

令和6年度 年間学習指導計画案

科目	数学A	単位数	2単位 (2・3学期)	学年・学科・コース	1年・普通科・普通コース
使用教科書	新編 数学A (数研出版)		副教材等	チャート式 解法と演習 数学A (数研出版) クリアー 数学A (数研出版)	

1. 学習の到達目標と評価の観点

学習の到達目標	図形の性質、場合の数と確率について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、数学と人間の活動の関係について認識を深め、事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。
---------	---

評価の観点		
a. 知識・技能	b. 思考・判断・表現	c. 主体的に学習に取り組む態度
図形の性質、場合の数と確率についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学と人間の活動の関係について認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	図形の構成要素間関係などに着目し、図形の性質を見だし、論理的に考察する力、不確実な事象に着目し、確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力、数学と人間の活動との関わりに着目し、事象に数学の構造を見だし、数理的に考察する力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

2. 学習計画及び評価規準、評価方法

月	学習項目	学習内容 (ねらい)	評価の観点			評価規準	評価方法
			a	b	c		
9	第1章 場合の数と確率 第1節 場合の数	場合の数を求めるときの基本的な考え方についての理解を深め、それらを事象の考察に活用できるようにする。	○			様々な事象に対して、順列や組合せを使い分けながら場合の数を求めることができる。	定期考査 授業態度 課題
				○		場合の数を数える適切な方針を考察することができる。	
					○	種々の条件に対して、順列と組合せの違いに興味・関心をもつ。	
10	第2節 確率	確率の意味や基本的な法則についての理解を深め、それらを事象の考察に活用できるようにする。	○			確率の意味、試行や事象の定義を理解し、複雑な事象の確率を求めることができる。	
				○		種々の確率の考え方を活用し、さらに確率条件付き確率の違いについて、図や表などを用いて考察することができる。	
					○	複雑な事象の確率を意欲的に求めようとする。	
11	第2章 図形の性質 第1節 平面図形	平面図形の性質についての理解を深め、それらを事象の考察に活用できるようにする。	○			定理を適切に利用して、線分の比や長さ、角度などを求めることができる。	
				○		静的・動的な図形の性質を多角的に捉え、考察することができる。	
					○	図形の性質やその証明に興味・関心を持つことができ、複雑な図に対しても積極的に考えようとする。	
11	第2節 空間図形	空間図形の性質についての理解を深め、それらを事象の考察に活用できるようにする。	○			空間における複数の図形に対しての性質や特徴を理解し、利用することができる。	
				○		空間についての性質を、与えられた条件をもとに考察することができる。	
					○	空間における図形の位置関係について、積極的に考えてみようとする。	

月	学習項目	学習内容（ねらい）	評価の観点			評価規準	評価方法
			a	b	c		
1 2	第3章 数学と人間の活動	さまざまな人間の活動の中から、整数を中心とした数学的な要素を見出し、数学の内容の理解を深めると同時に、現実の事象を数学的に考察できるような力を培う。	○	○	○	<p>整数の性質を理解し、それらを活用し、数について調べたり、証明したりすることができる。また、日常的な数学的性質を理解することができる。</p> <p>整数についての性質について考察を深め、それらが表現できる。また、身の回りの事象を数学的に思考することができる。</p> <p>整数の性質に興味・関心を持ち、身近な事象との関わりを積極的に考えようとする。また、日常生活と数学との関わりを感じようとする。</p>	定期考査 授業態度 課題